



ADMISSION POLICY

琉大が求める人材像

人材の育成

- 豊かな教養と自己実現力を有し、総合的な判断力を備えた人材
- 優れた専門性を持ち、地域社会及び国際社会に貢献する人材
- 外国語運用能力と国際感覚を有し、国際社会で活躍する人材
- 地域の歴史と自然に学び、世界の平和及び人類と自然の共生に貢献する人材

求める学生像

- 高等学校段階までの教育において、基礎的な知識・技能を習得し、問題意識を持ち続け、主体的に学習に取り組む態度を身につけた人
- 異なる歴史的・文化的特性や価値観を理解し、地域社会及び国際社会で貢献する意欲のある人
- 自分自身の可能性を信じ、自己の個性を生かし、自己実現に意欲のある人

人文社会学部 ▶ P15



人文社会学部
長
安藤 由美

人文社会学部は、私たち人間や地域社会、あるいは国際社会が抱える課題、その歴史や文化、そしてそもそも人間の精神・心とは何か、こういった問題に興味のあるあなたにきっとふさわしい学部です。法学、政治・国際関係学、哲学・教育学、心理学、社会学、琉球とアジアを中心とする歴史・民俗学、言語学、文学など、多彩なプログラムを準備して、皆さんをお待ちしています。

国際地域創造学部 ▶ P21



国際地域創造学部
長
石原 昌英

国際地域創造学部は、グローバルとローカルを併せ持つ視野によって、地域社会における現代的課題の解決や国内外の産業・文化の振興に寄与できる人材の育成という教育目標を掲げています。受験生の皆様、本学部に入學し、「国際」「地域」「創造」が自分にとってどのような意味を持ち、それをどのように組み合わせて自分の学びを究め、卒業後に地域社会、国際社会においてどのような貢献できるのかを考えてみませんか。卒業までにはその答えが見つかります。

教育学部 ▶ P29



教育学部
長
萩野 敦子

教育学部は、学校教育教員養成課程の一課程から成り、卒業がそのまま教員免許の取得につながるカリキュラムを組んでいます。ここに集う皆さんには、「沖縄の子どもの学びと育ちを支える」という合言葉のもと、そのために必要な知識・技能・教養に加えて、子どもが学び育つ現場で主体的に行動できる実践力、子どもの心に寄り添うことのできる想像力を身に付けてほしいと願っています。急速に変化する現代社会において子どもを輝かせる教育のありかたを、一緒に探っていきましょう。

理学部 ▶ P33



理学部
長
山崎 秀雄

科学技術の進歩によって生活が便利で豊かになりました。一方で、新型コロナウイルスや地球温暖化問題のような人類の課題も増えています。理学部では、グローバル化社会に貢献できる地球市民の育成を目指しています。人類共通の言語は、科学と数学です。共通言語である数学、物理、化学、地学、生物の分野を基礎として、沖縄の亜熱帯海洋特性を生かした世界的な研究も展開しています。サンゴ礁の島と一緒に未来を考えてみませんか。

医学部 ▶ P41



医学部
長
石田 肇

日本列島の南端に位置する琉球大学医学部は、良き医療人を養成しています。2024年の移転に合わせて、国際性・離島の特性を踏まえた沖縄健康医療拠点形成を目指しています。具体的には、高度医療・研究機能の拡充、地域医療水準の向上、国際研究交流、医療人材育成を行います。このように、今、日本で最も活発な医学部です。また、沖縄のゆったりとした雰囲気の中で勉強ができる環境は、学習量の多い医学部で学ぶ学生にはたまらなく優しいものがあります。

工学部 ▶ P47



工学部
長
和田 知久

美しいサンゴ礁の海、年中緑溢れ、空気がおいしく、花粉症もない沖縄。情報通信技術の発達で、そんな自然豊かな場所でも、世界中の最新の情報が簡単に手に入ります。天地自然のルールを数学や物理学でモデリングし、そして頭脳を使ってデザインすることで人類社会に活かしてゆくのが工学部の学びです。機械・エネルギー・電気・電子・社会インフラ・建築そして知的情報技術を利用し、世界で活躍できる人を真面目に育成しています。

農学部 ▶ P57



農学部
長
和田 浩二

日本で唯一亜熱帯地域に位置する琉球大学農学部！「食料生産」、「環境保全」、「エネルギー」、「生物資源」、そして「健康の保持増進」に関わる多種多様な課題について、その地域特性を最大限に活かして、意欲的に教育と研究を行っています。琉球大学農学部では、亜熱帯の沖縄でしかできない「農学」、総合科学としての「農学」、そしてグローバルな「農学」に興味や関心のある学生を待っています！！